

1. 感染拡大防止対策

感染拡大防止効果の最大化

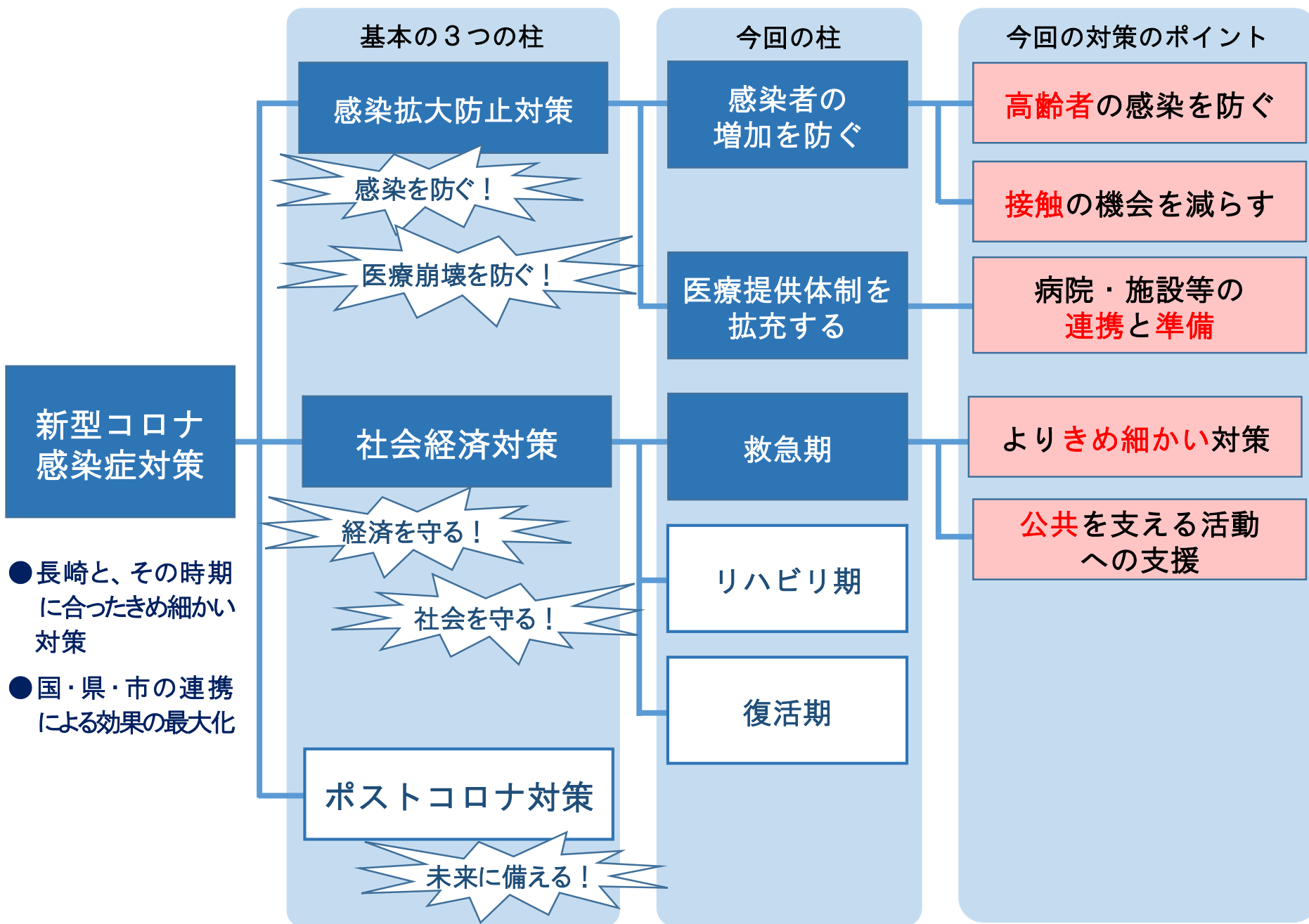
2. 社会経済対策

社会経済への影響の最小化

3. ポストコロナ対策

ポストコロナ社会に対応した都市へのレベルアップ

新型コロナウイルス感染症対策の基本的な考え方



新型コロナウイルス感染症対策費 2,057万5千円

医療機関への検査キットの配布

医療従事者が安心して診療にあたる環境づくりのため、
抗原簡易検査キットを市内の医療機関へ配布します

対 象 約480医療機関

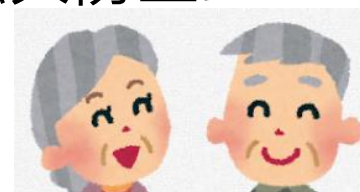
予算額 15,575千円



迅速な検査を行う検査キットの購入

新型コロナウイルス感染症の陽性者が確認された高齢者施設
や学校等で、関係者の検査を迅速に行い、感染拡大防止に
つなげるため、抗原簡易検査キットを備蓄します

予算額 5,000千円



新型コロナウイルス感染症対策費 8億3,108万1千円

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るため、**PCR検査等**の実施体制を整えるとともに、陽性者に対して**適切な医療**を提供します

【主な事業内容】

- | | |
|------------------------------|-------------|
| ・PCR検査等の実施 | 5億3,456万2千円 |
| ・長崎地域・外来検査センターの運営 | 7,532万4千円 |
| ・新型コロナウイルス感染症に係る
相談窓口の運営等 | 1,711万3千円 |
| ・入院医療費公費負担金 | 1億3,554万8千円 |

身近な医療機関



医師の
判断

検体採取



検査



感染拡大防止対策

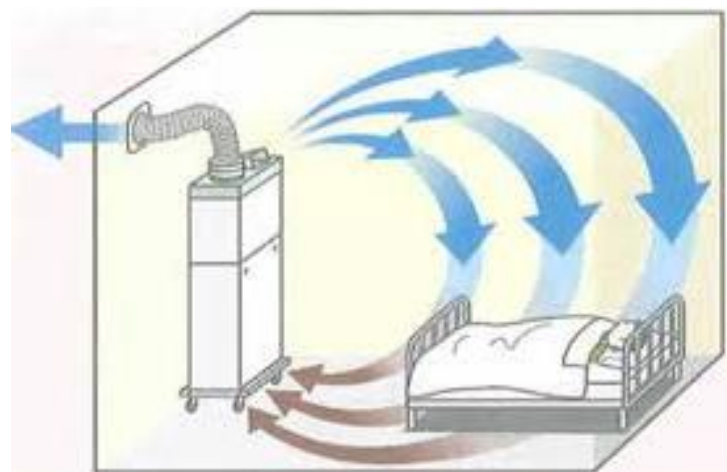
高齢者福祉施設整備事業費補助金 簡易陰圧装置

1,489万8千円

介護施設等において、コロナウイルスの感染が疑われる者が発生した場合に、**感染拡大のリスクを低減**するためには、ウイルスが外に漏れないよう、気圧を低くした居室である**陰圧室の設置が有効**



簡易陰圧装置を設置
する場合の費用を補助
補助予定施設 6施設



簡易陰圧装置イメージ図（厚生労働省資料より）

感染拡大防止対策

手洗い水洗（蛇口）の自動化

1,424万円

重症化するリスクの高い高齢者や障害者の方の利用が多い公共施設で、**非接触化**を図るため手洗い場の水道蛇口を**自動水栓に交換**します

対象施設

- ① 老人福祉センター・
老人憩の家（14施設）
- ② 障害福祉センター
- ③ 大型公民館（7施設）
- ④ 地区公民館（5施設）
- ⑤ ふれあいセンター（15施設）
- ⑥ その他市民センター等（8施設）



感染拡大防止対策

新型コロナウイルス感染症病床確保推進費

2,500万円

限りある**コロナ専用病床**を有効に活用するため・・・



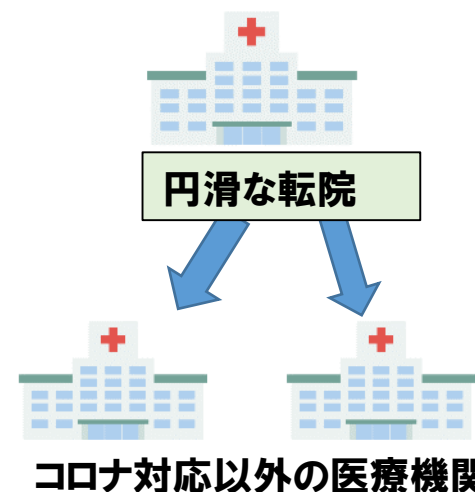
症状が回復した患者の**転院**を**促進**し、コロナ専用病床の確保を進めます

【事業内容】

長崎医療圏の病床が感染ピーク時等の段階で、**症状が回復したコロナ患者の転院**を受け入れた医療機関に支援金を支給します

金額：患者一人あたり 25万円

コロナ対応医療機関



社会経済対策 一 経済対策

中小事業者等一時金

23億6,470万円

緊急事態宣言に伴う飲食店の時短営業や不要不急の外出自粛の影響により、売上が減少した市内の中堅・中小零細事業者に一時金を支給します

※「長崎市営業時間短縮要請協力金」の受給者は対象外

※詳細は、2月末頃公表予定

<主な申請要件>

飲食店の時短営業や外出自粛の直接・間接の影響を受けて、令和3年1月または2月の売上高が対前年比20%以上減少していること

※緊急事態宣言の発出により生じた直接・間接の影響についての申立書等により確認

<支給額>

法人、個人ともに、1事業者あたり 20万円(定額)

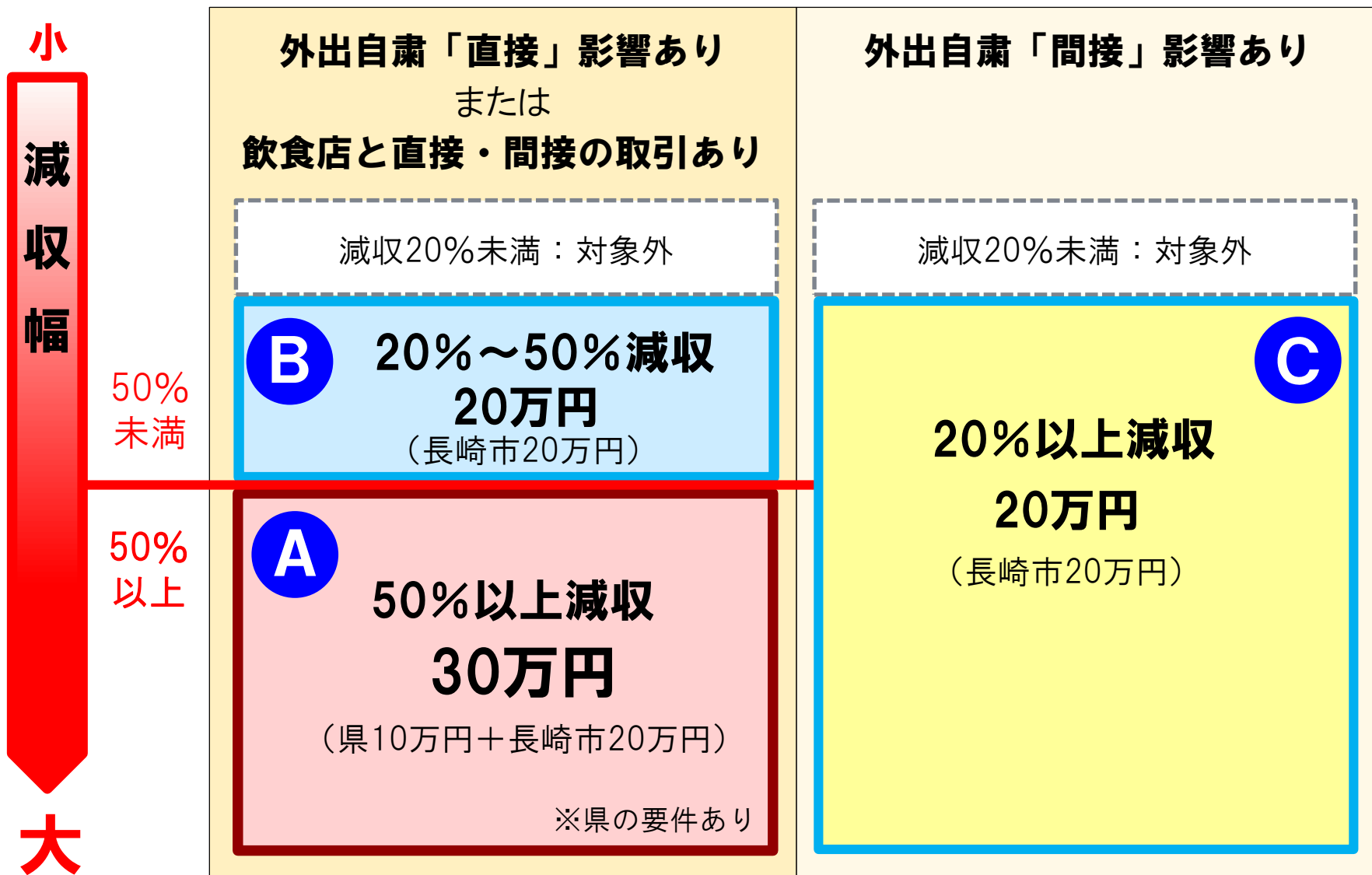
※ただし、令和3年1月または2月の売上高が対前年比50%以上減少しており、

かつ、次のいずれかに該当する事業者は、30万円(定額)

- ・時短営業を実施した県内の飲食店と直接・間接の取引があること
- ・県内における不要不急の外出自粛による直接的な影響を受けたこと

社会経済対策 — 経済対策

中小事業者等一時金の支給イメージ



商店街等にぎわい復活支援費

2,000万円

新型コロナウイルス感染症により失われた**商店街や飲食店街等のにぎわいを復活**させるため、外出自粛の緩和や今は停止している「GoTo商店街事業」が再開したときに、これらの団体が実施する取組みに対し支援します

にぎわい復活支援費補助金

商店街等が、イベントや顧客獲得を目的とする事業の実施に要する経費や、国の「GoTo商店街事業」採択を受け実施する事業の自己負担分に要する経費を補助します

(例)スタンプラリー、復活祭等

- ・補助対象者 商店街や飲食店等の団体
- ・補助率 9/10以内
- ・補助限度額 200万円以内



長崎の花活用拡大支援費

1,600万円

令和2年6月補正予算で取り組んだ長崎の花活用拡大支援事業を継続するとともに、対象を拡大します



内 容



1. 公共施設・学校への花アレンジを配置

【対象施設】学校や市役所、図書館ほか 150箇所

【対象期間】令和3年4月～9月 ※各箇所12回配置

2. 新成人への花アレンジなどの贈呈

【対象者】令和3年の新成人 約3,400人

【引換期間】令和3年12月まで

※対象者に引換券を渡し、生花店での花の受取り



WELCOME TO NAGASAKI キャンペーン事業費 1億352万円

事業概要

国のGotoトラベルキャンペーン等の終了後、閑散期において長崎市独自の旅行者割引キャンペーンを展開し、継続的な誘客を図ります

事業内容

長崎市独自の旅行者割引キャンペーン (オンラインクーポンの発行・Webプロモーション)

対象期間 令和3年12月～令和4年2月(予定)

割引額 **最大5,000円/人**

発行枚数 計50,000枚

【20,000枚(今回補正予算) + 30,000枚(令和2年6月補正予算)】

※本事業は令和2年6月補正予算事業と併せて実施します



社会経済対策 — 経済対策

新型コロナウイルスの影響による納付の猶予

新型コロナウイルスの影響により納付が困難な市民の方などに対し、地方税の取扱いに準じて、次のとおり納付を猶予します

【対象者】 新型コロナウイルスの影響により、猶予期間の以前1年間の事業収入などが、その前の1年間に比べて**概ね20%以上**減少している市民の方など（個人・法人の別、規模は問いません）

【対象期間】 令和3年2月1日から同4年1月31日までに納期限が到来するもの
※既に納期限が過ぎていても、令和3年3月31日までに申請があったものについては、遡って納付を猶予します

【猶予内容】 無担保かつ延滞金なしで、納期限から1年間

【対象項目】

個人市民税、法人市民税、事業所税、軽自動車税、固定資産税、償却資産税、国民健康保険税、介護保険料、水道料金、下水道使用料、保育料（市立保育所使用料、同延長保育料、市立認定こども園預かり保育料、給食負担金を含む）、長崎商業高校授業料、学校給食費など

社会経済対策 — 社会活動対策

公共交通確保支援金

4,630万円

今後も新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めつつ、引き続き市民生活の足として運行の確保に努める公共交通事業者に対し、緊急的に支援を行います

乗合バス・路面電車・タクシー事業者 に対し、

市民が安心して利用できるよう、車内の除菌や消毒などを継続して行う費用として、**市が支援金を交付**します

【支援額】

公共交通事業者の
「保有台数」に応じて算定



社会経済対策 — 社会活動対策

一般廃棄物収集運搬継続対策費

345万6千円

市民生活に必要不可欠なごみやし尿の収集運搬において、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを低減させる対策を講じ、安定的な収集運搬体制を維持します

1. 対象事業者

- ア 家庭系ごみ収集運搬事業者
- イ し尿収集運搬事業者

2. 金額

使用車両1台につき 1万6千円

3. 内容

複数人が乗車することが避けられない
車両内での飛沫感染対策



令和2年度補正予算

地域生活定着支援施設整備事業費補助金 (宿泊型自立訓練事業所)

2,500万円

総務省の地域経済循環創造事業交付金(ローカル10,000プロジェクト)を活用し、障害のある刑務所出所者等の受け入れを行う宿泊型自立訓練事業所を整備する法人に対して補助を行い、再犯防止を推進します

ローカル10,000プロジェクトとは

地域の人材・資源・資金を活用した新たなビジネスを立ち上げようとする民間事業者を支援するもの

宿泊型自立訓練事業とは

障害福祉サービスの一つで、障害のある人に対し、一定期間、居住の場を提供し、家事等の日常生活能力の維持・向上のための訓練などを行うもの



令和3年度当初予算 7つのテーマ

1. デジタル化の推進
2. 脱炭素社会の実現
3. 長崎開港450周年
4. 平和の発信と
世界への貢献
5. 次の時代の基盤づくり
6. 個性を活かした
交流の拡大

7. 暮らしやすく、 活力あふれるまちづくり

- ・子育てしやすいまち
- ・快適な住環境が整ったまち
- ・新しい仕事に挑戦できるまち
- ・芸術文化・スポーツを
楽しめるまち
- ・安全・安心で
快適に暮らせるまち
- ・ともに支えあい、いきいきと
暮らせるまち
- ・創造的で豊かな心を
はぐくむまち

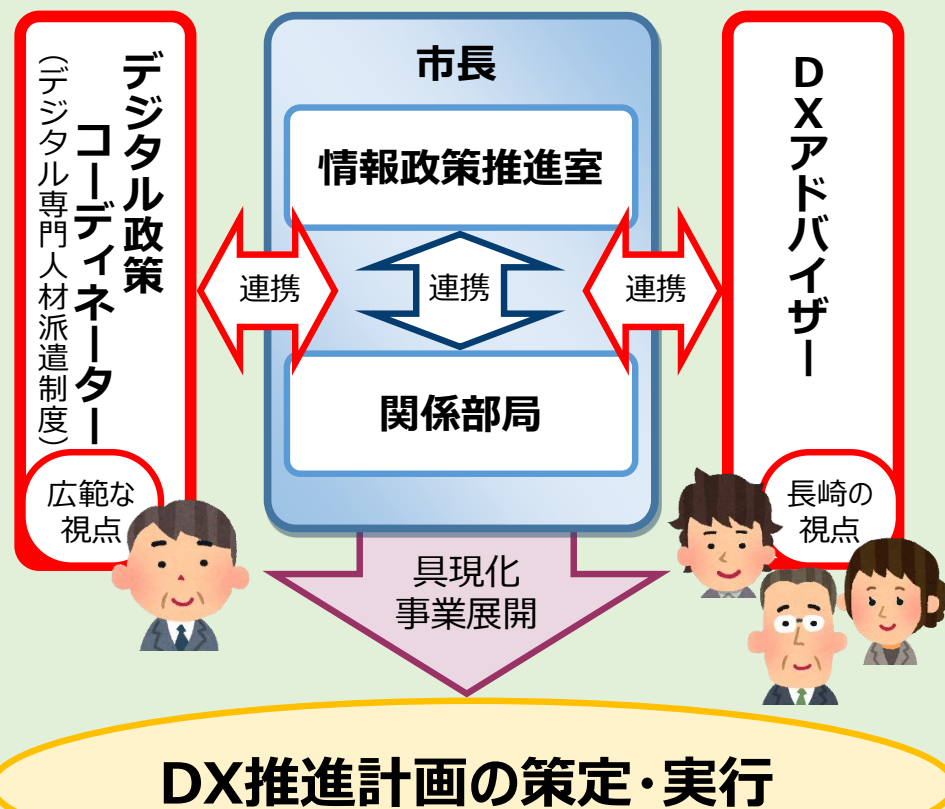
1. デジタル化の推進（Society5.0の実現）

デジタル化推進費

1,925万8千円

社会全体のデジタル化に対応するため、地域の実情を踏まえ、時代の流れに遅れることなく長崎市全体のデジタル化を推進します

長崎市DX推進体制



都市

スマート工場



※イメージ

スマート農業



スマート観光



MaaS
(交通のIT化)



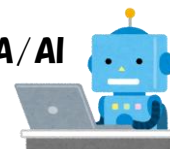
オンライン
保健指導



テレワーク



RPA/AI



電子申請



スマート長崎市の進展

市役所 18

2. 脱炭素社会の実現 (2050年「CO₂排出量実質ゼロ」(＝カーボンニュートラル)の実現)

2021年 ゼロカーボンシティ 宣言へ

取組みの
加速！

2018年

市域CO₂排出量
220万7千トン
(速報値)



年
6万4千トン
削減！

2030年

市域CO₂排出量

△**43%**
(2007年度比)

**あと76万8千トン
削減！**
(2018→2030年)

年
4万7千トン
削減！

2050年

市域CO₂排出量

実質ゼロへ

**あと170万2千トン
削減！**
(2018→2050年)



これまでの年平均削減量 (2007→2018年)
市域 年 **2万9千トンCO₂** (削減率1.1%)
市役所 年 1,300トンCO₂

主な取組み

- ・「ながさきエコライフ」
(エコライフフェスタ、ウィーク)
- ・三京メガソーラー太陽光発電
- ・サステナプラザながさき
- ・(株)ながさきサステナエナジー

2007年
市域CO₂排出量
252万4千トン

2050年カーボンニュートラル に向けた取組み方針

- ①再生可能エネルギーの導入推進、
まちづくりの脱炭素化
- ②日常生活、事業活動の脱炭素化

2. 脱炭素社会の実現 (2050年「CO₂排出量実質ゼロ」(＝カーボンニュートラル)の実現)

令和3年度の主な取組み

1. 再生可能エネルギーの導入推進、まちづくりの脱炭素化

- ・エネルギー版産学官民連携スタートアップ事業 : 56万1千円
- ・電気自動車急速充電器整備・蓄電池化事業 : 1,212万8千円

【CO₂削減量】
(今回増加見込分)

- ・次世代自動車購入事業 : 1,590万円
(令和3年度買い換えの公用車 全車6台を電気自動車へ)

⇒ 年約 6 トン

- ・新市庁舎建設事業 : 97億2,050万円

- ・道路灯・公園灯のLED化事業
(令和3年度 道路灯996灯: 1億8,360万円
公園灯580灯: 1億7,250万円)

⇒ 年約 550 トン

- ・メガソーラー運営 : 3,771万5千円

- ・ながさきサステナエナジーによる再生可能エネルギーの地産地消

⇒ 年約 6,100 トン

2. 日常生活、事業活動の脱炭素化

- ・地球温暖化対策実行計画の広域策定 (長崎市・長与町・時津町による連携)
- ・地球温暖化対策市民運動の推進 : 1,466万6千円
(サステナプラザながさきによる市民環境行動拡大)

3. 長崎開港450周年

まちの発展を支えてきてくれた
長崎港への感謝を込めて



長崎開港**450**周年

ときめく みなと、つながる みんなと

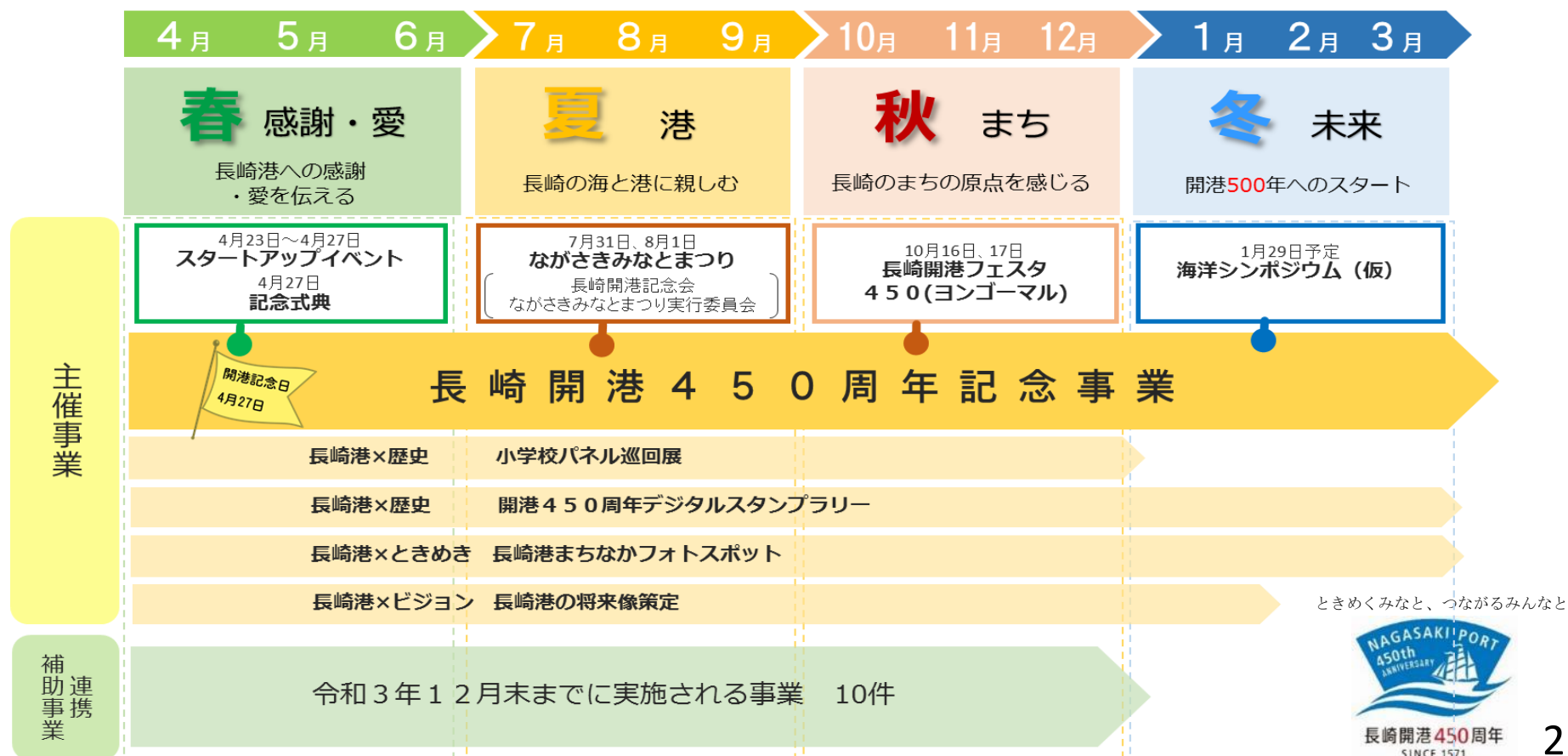
THE ENCHANTING PORT OF NAGASAKI: A GLOBAL INTERSECTION

3. 長崎開港450周年

長崎開港450周年記念事業費

6,500万円

長崎開港450周年を契機に長崎のまちが港とそこから広がる海洋とともに発展していくことを、記念事業を通して、県民、市民が認識し、行動を起こす契機となることを目指します



3. 長崎開港450周年

長崎開港450周年記念事業（主な関連事業）

関連施策

（官公庁等が実施するイベントなど）

- 特別企画展「長崎開港450周年記念展
～ふたつの開港～」
【長崎歴史文化博物館】
- 出島企画展「ポルトガル展」
【出島復元整備室】
- 長崎開港450周年記念ポルトガル講演会
【国際課】

連携事業

（実行委員会等が主催するイベントなど）

- 長崎帆船まつり
【長崎帆船まつり実行委員会】
- ながさきみなとまつり
【長崎開港記念会、
ながさきみなとまつり実行委員会】
- 開港5都市景観まちづくり会議2021
長崎開港450周年記念大会（仮）の開催
【同大会実行委員会】

ときめくみなと、つながるみんなと



4. 平和の発信と世界への貢献

被爆100周年に向けた 新たなスタート



4. 平和の発信と世界への貢献

国際会議への出席（平和推進活動費） 983万9千円

核兵器禁止条約発効後、初めて開催される「第1回締約国会議」や、8月に延期となった「2020年核不拡散条約（NPT）再検討会議」において、被爆地長崎の平和への思いを世界に強く訴えます



**第1回核兵器禁止条約締約国会議出席（市長、議長ほか）
645万3千円**

**核不拡散条約（NPT）再検討会議出席（市長ほか）
338万6千円**



4. 平和の発信と世界への貢献

平和の文化の醸成

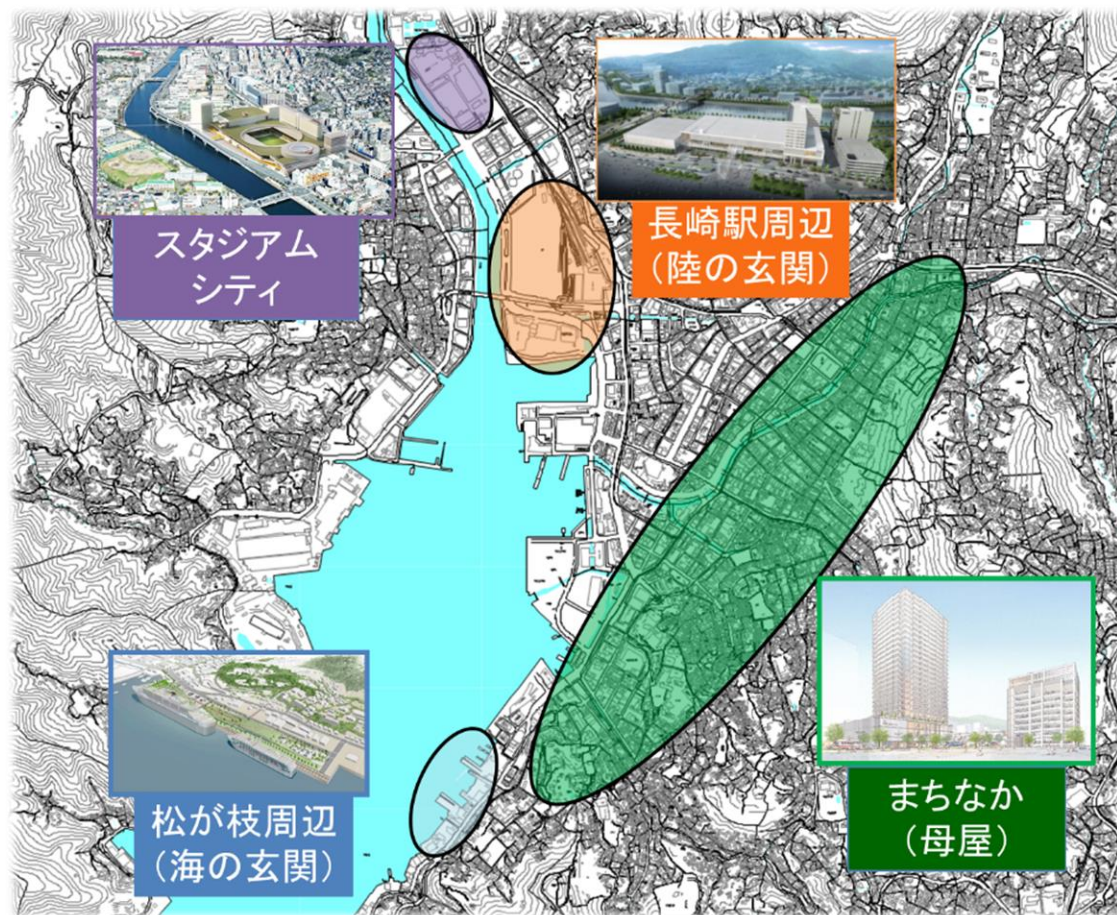
1,339万7千円

平和行政の新たな柱として、より多くの人々が気軽に平和について考えられるよう、日常の中に「平和の文化」を根付かせていく「**平和の文化の醸成**」に取り組めます

事業名		事業費
新規	平和の新しい伝え方応援事業費	109万7千円
	「長崎クスノキプロジェクト」推進費	1,000万円
新規	平和コンサートとの連携(平和推進活動費)	100万円
新規	平和フォーラムの開催 (平和推進活動費)	130万円

5. 次の時代の基盤づくり

100年に一度の 大きな**進化**の時期



5. 次の時代の基盤づくり

平和公園再整備基本計画策定費 1,340万3千円

長崎市にとって重要な幹線道路である、地域高規格道路長崎南北幹線道路（県事業）の事業化が県によって検討中

道路計画との整合を図るとともに、都市づくりの考え方や周辺の土地利用の変化等も踏まえつつ、**今後の平和公園（西地区）のあり方やスポーツ施設の再配置など**について検討し、再整備に係る基本計画を策定します



平和公園（ゾーニング図）



地域高規格道路 長崎南北幹線道路 選定ルート帯
（長崎南北幹線道路ルート選定委員会提言書（R2.3）より）

5. 次の時代の基盤づくり

中部下水処理場の跡地活用に向けた施設集約化

- ・雨天時浸入水対策のための流量調整池設計 1億904万円
- ・動物管理センター、茂里町環境センター移転のための改修設計 3,421万円

幸町の長崎スタジアムシティ用地に隣接する中部下水処理場の機能停止に伴い、敷地内にある各施設の機能を旧クリーンセンターに移転集約し、**2.3haのまとまった土地**を跡地活用できるようにします

令和3年度は移転に向けた設計業務を行います



6. 個性を活かした交流の拡大

選ばれる21世紀の交流都市
を目指して



6. 個性を活かした交流の拡大

2021年 **オープン・リニューアル**

長崎のもざき恐竜パーク



旧グラバー住宅



出島メッセ長崎



6. 個性を活かした交流の拡大 ― 出島メッセ長崎開業

出島メッセ長崎の整備

【補助】交流拠点施設整備事業費
交流拠点施設 41億9,690万円

MICE誘致・受入の推進

MICE推進費 202万2千円
観光地域づくり推進費(MICE事業分)
1,708万2千円
(うち、まちMICE関連 822万6千円)

- ◆ 「建設工事(内装、外構、設備等)」、「開業準備」などの実施
- ◆ MICE商談会における長崎のMICE開催地としてのPRの実施
- ◆ MICE参加者の満足度を高めるため、令和2年度に作成した
※ユニークベニューガイドブックの追加・拡充の実施 (まちMICE関連)

※ユニークベニュー…歴史的建造物、文化施設や公的空間等で、会議やレセプションを開催することで
特別感や地域特性を演出できる場所

6. 個性を活かした交流の拡大 — 出島メッセ長崎開業

LRT都市サミット開催費

832万6千円

路面電車のLRT※化に取り組み、人と環境にやさしいまちづくりを目指す都市の代表者による意見交換を通して、各都市の取組や魅力の発信、都市間連携を図ることを目的とする**LRT都市サミット**を開催します

※Light Rail Transit（ライト・レール・トランジット）の略で、低床式車両の活用や軌道・電停の改良による乗降の容易性、定時性、速達性、快適性などの面で優れた特徴を有する次世代の軌道系交通システム

【開催予定日】

令和4年1月28日（金）～29日（土）

【LRT化の事例】

【会場】

出島メッセ長崎

【内容（仮）】

- ・ LRT事例・制度紹介
 - ・ 首長会議・サミット宣言
 - ・ 浦上車庫見学及び貸切電車による市内案内等
- （参加者見込：約700名程度）



低床式車両導入



接近表示システム

6. 個性を活かした交流の拡大 — 出島メッセ長崎開業

世界夜景サミット誘致負担金

909万6千円

長崎夜景の魅力を国内外に強力に発信するため、(一社)夜景観光コンベンション・ビューローが初開催を計画している「**世界夜景サミット**」を**長崎市に誘致**します（令和3年11月開催予定）



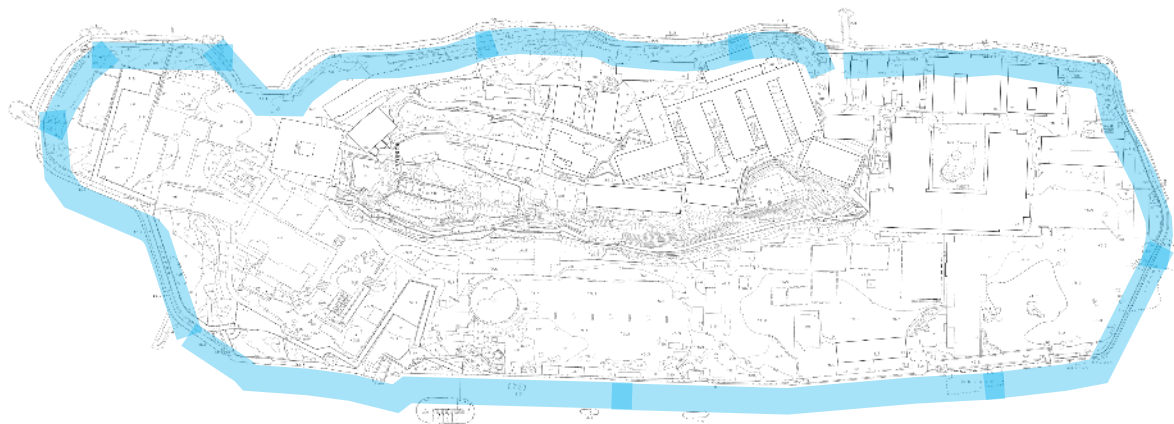
6. 個性を活かした交流の拡大

世界遺産保存整備事業費

「明治日本の産業革命遺産」

6,000万円

端島の厳しい自然環境による老朽化が著しく今後も崩壊の恐れがある護岸遺構について、補強整備により、機能の向上を図り、崩壊を防止することで遺跡を保護します



令和3年度
基本設計
工法検討
測量



護岸の補強整備へ

端島島内の保存整備についても一体的に取り組みます

6. 個性を活かした交流の拡大

ナイトタイムエコノミー推進費

582万4千円

「ウィズコロナ」「アフターコロナ」において**夜間の消費拡大**につながるナイトタイムエコノミーの取組みを応援します

応援1 経費支援

- ・ 対象者
市内の事業所、団体又は個人
- ・ 補助額
経費の2分の1 (最大200万円/年)
- ・ 補助対象期間
最長2カ年度



応援2 プロモーション支援

- ① 市の広報媒体
- ② SNSでの情報発信

応援3 関係者調整支援

- ① 公共の場の活用
- ② 関係機関・団体との協議等

6. 個性を活かした交流の拡大

水道創設130周年・下水道供用開始60周年記念事業

690万円



下水道60周年記念事業 「弱虫ペダルデザインマンホール設置」

- ・長崎市出身の漫画家・渡辺航氏の自転車ロードレースをテーマにした人気漫画「弱虫ペダル」とコラボして、デザインマンホールを市内21箇所に設置し、6つの周遊コースを造成します
- ・文化観光部や教育委員会と連携し、長崎市の新たな観光コンテンツを創出します



現在設置している
デザインマンホール

水道130周年記念事業「水道資料室リニューアル」

- ・見学者が楽しみながら、長崎水道の歴史にふれることができるよう、ストーリー性を重視した水道資料室へリニューアルします

6. 個性を活かした交流の拡大

アニメツーリズム推進費

1,546万9千円

人気漫画「弱虫ペダル」とコラボし、長崎市の新たな魅力的観光コンテンツの造成を行い、観光客の誘客と周遊の促進を図ります

◆「弱虫ペダル」原画展

◆デザインマンホールを活用した 周遊コースの設定及びスタンプラリー

長崎市上下水道局と連携して、
デザインマンホールを設置し、
6つの周遊コースを造成します

◆記念ライド事業

◆渡辺航氏の講演会



6. 個性を活かした交流の拡大

さしみシティ推進事業費

1,031万5千円

“市民が来訪者におすすめしたい”魚の食べ方である「**刺身**」にスポットを当て、**新たなキャッチコピー「さしみシティ」**を軸としたPRに取り組みます

あわせて、地元機運の醸成と市民や民間企業の主体的な取組みにより、『**長崎＝「さしみシティ」**』と認知され、観光コンテンツの一つとして定着することを目指します

チーム力・クオリティ向上事業

提供店舗のクオリティ向上や、店舗間のつながりを創出し、意識共有と連携促進を図ります

- ・長崎ならではの食べ方、料理方法等の講習会
- ・店舗の発信力を強化するPR講習会

PR事業

民間主体の取り組みや、キャッチコピー「さしみシティ」を軸とした各種PRを実施します

- ・プロジェクト認定や補助事業で生まれた取り組みのPR
- ・交通動線における着地型の広告



プロジェクト認定制度

市民や企業の取り組みをプロジェクトとして認定し、当事者意識の醸成を図ります

- ・対象事業：機運醸成、魅力発信等
- ・認定方法等：公募後、事業内容を審査
- ・認定書を交付し市のホームページ等で周知

推進事業補助金

事業提案を募集し、支援することで、市民や企業の主体的な取り組みの促進を図ります

- ・対象事業：魅力発信、商品開発等
- ・選考方法：公募後、プレゼンテーション審査で選考
- ・補助率：4分の3(上限1事業あたり50万円)

7. 暮らしやすく、活力あふれるまち



7-1. 子育てしやすいまち

子育て支援センター 新設・利用料の無料化 8,820万円

子育て中の孤立感や負担感の軽減を図るため、子育てに関する相談や交流などができる場として設置している**子育て支援センター**を新たに**4区域**で開設します
(令和4年度にさらに1区域で開設予定)

また、多くの子育て家庭の皆さまに、より気軽に利用いただけるよう現在100円の**利用料を無料化**します

1. 子育て支援センターの開設

●令和3年度開設予定:4区域

- ・日吉・茂木・南区域
- ・深堀・香焼・伊王島・高島区域
- ・岩屋・滑石・横尾区域
- ・小江原区域

●令和4年度開設予定:1区域

- ・江平・山里区域

※令和3年度は整備に係る実施設計を行う

2. 子育て支援センターの利用料の無料化

現行:1日1組あたり100円 ⇒ **見直し後:無料**

小江原区域
(R3開設予定)

岩屋・滑石・横尾区域
(R3開設予定)

江平・山里区域
(R4開設予定)

日吉・茂木・南区域
(R3開設予定)

深堀・香焼・伊王島・
高島区域(R3開設予定)



7-1. 子育てしやすいまち

放課後児童クラブ 利用料の減免の拡大

1,780万円

経済的負担が理由で放課後児童クラブが利用できないことがないよう、夏休みなど**長期休暇期間に係る利用料の増額分を新たに減免**を行うことで、放課後等の安全・安心な居場所の確保に努めます

利用料の減免対象について、

- ・ひとり親等世帯
- ・就学援助受給世帯
- ・傷病による生活保護受給世帯

の月額利用料に加え、



【長期休暇に係る利用料の増額分】

児童1人につき（各季ごとの上限額）

春休み	3,000円
夏休み	6,000円
冬休み	2,000円

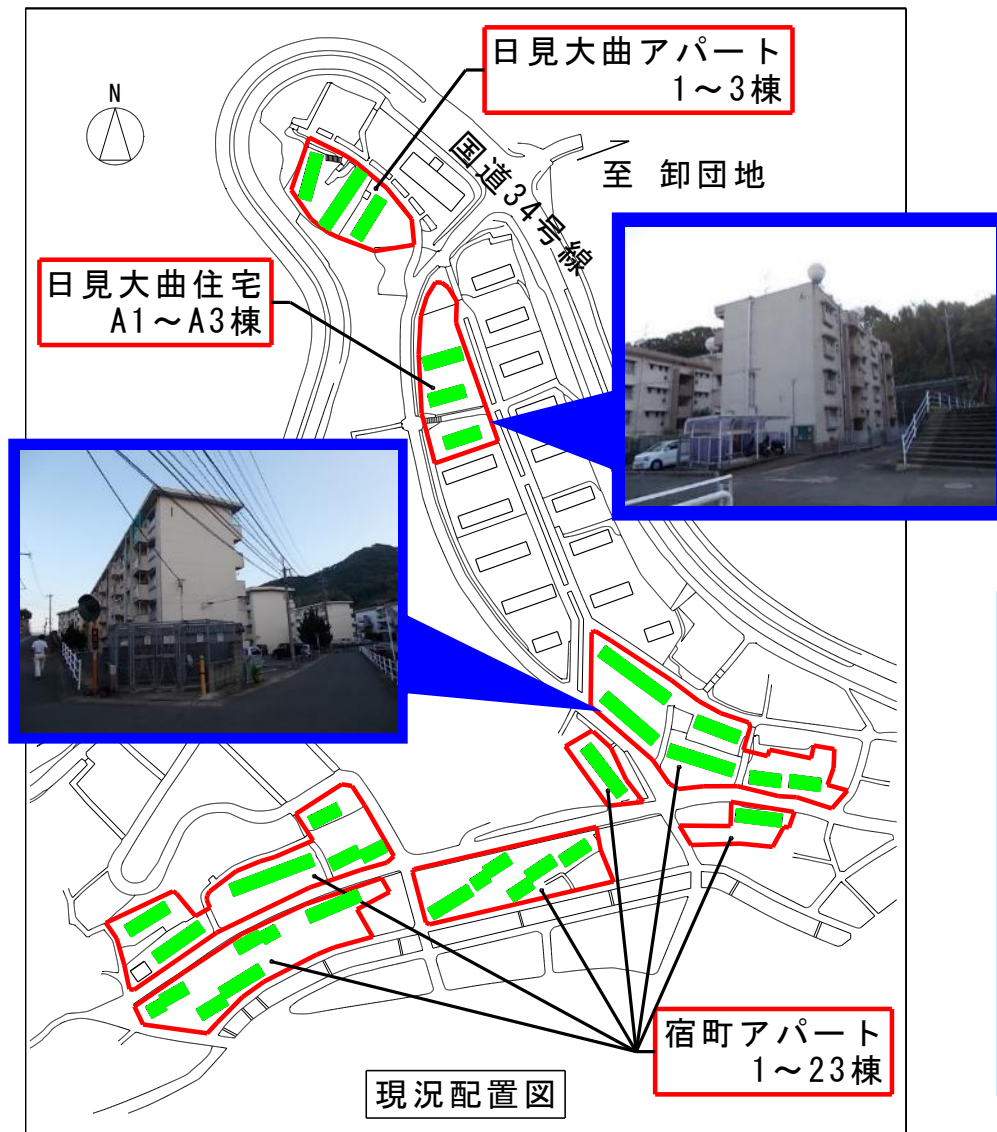
を拡大します



7-2. 快適な住環境が整ったまち

公営住宅建設事業費（日見大曲・宿町）

3,200万円



日見大曲、宿町アパートは老朽化しており、建替等を計画するために、令和3年度は敷地の測量、地質調査を行います

7-2. 快適な住環境が整ったまち

既設公営住宅改善事業費 住戸改善事業費

3億7,510万円

既設の市営住宅の機能を充実させるため、浴室、台所、洗面所や内装などを改善します

また、その一部を子育て世帯が住みやすい住戸へ整備します

1. 一般世帯向け(50戸)
(2億6,800万円)



改修イメージ



ユニットバス化



流し台の更新



内装の更新



対面キッチン化

《住みよかプロジェクト》

2. 子育て世帯向け(20戸)
(1億710万円)



7-3. 新しい仕事に挑戦できるまち

新産業・起業チャレンジ促進費

1,527万円

新規事業を次々に創出し、新たな産業として育成します

既存企業

の力を活用した新規事業創出

オープンイノベーションの手法を活用した、県外企業と地場企業の協業による新規事業創出を、長崎県や他自治体、十八親和銀行、大学等と連携して組織横断的に支援を行います

- ◆新規事業創出プロジェクトに対する伴走支援
- ◆新規事業創出プロジェクトに対する補助



新たな企業

の力を活用した新規事業創出

ふくおかフィナンシャル・グループと連携し、スタートアップに関する機運醸成や起業希望者の掘り起こしを行うと共に、起業家コミュニティの形成・活性化を支援します

- ◆起業家コミュニティ活性化に係る専門人材配置
- ◆機運醸成イベントの開催



7-4. 芸術文化・スポーツを楽しめるまち

芸術文化大会等出場奨励事業費 403万2千円

小中学生・高校生の芸術文化活動を応援するため、奨励事業を創設します

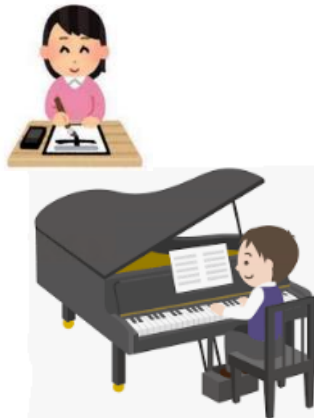
令和3年度から新設する、ふるさと納税「(仮称)芸術文化の振興“芸術文化をもっと楽しめるまち長崎に”」を、この事業に活用します。

部活動以外で芸術文化分野の全国大会等に出場する場合、奨励金を交付

- 対象者 市内在住の小中学生及び高校生
(団体出場の場合は、市内在住の団体指導者も対象)

- 奨励金の額 国際大会 1人 30,000円
国内大会 1人 1,000円～20,000円

※開催地区等により異なります



《参考》

令和2年度ふるさと納税「新型コロナウイルス感染症の影響からの再開支援
～長崎芸術文化応援プロジェクト！～」を『長崎文化時間の創出事業』に活用します

7-4. 芸術文化・スポーツを楽しめるまち

プロスポーツ応援事業費

900万円

県内全域をホームタウンとするプロサッカーチーム「**V・ファーレン長崎**」と、長崎市をホームタウンとし、令和3年度にプロバスケットボールリーグ(B3リーグ)に参入予定の「**長崎ヴェルカ**」のホームゲームを盛り上げ、市民がプロスポーツに触れる機会を増やすとともに、「みるスポーツ」を通してスポーツへの関心を高め、様々な形で市民がスポーツに関わるきっかけをつくります

応援機運醸成

「みるスポーツ」を通してスポーツへの
関心を高めるきっかけを作る



長崎市民応援DAY実施
(長崎市内の小中学生と保護者の
ペアをホームゲームへ無料招待)

応援タペストリーの設置・
SNSでの情報発信

7-5. 安全・安心で快適に暮らせるまち

防犯カメラ設置事業費補助金

200万円

自治会及び連合自治会が行う防犯カメラの設置に対して補助することで、**地域の防犯力**を高めます

事業内容

【補助対象経費】

防犯カメラを設置するために必要な機器・
表示板の購入費、工事費など

【補助率】 2分の1

【上 限】 1団体につき20万円



7-5. 安全・安心で快適に暮らせるまち

有害鳥獣対策費

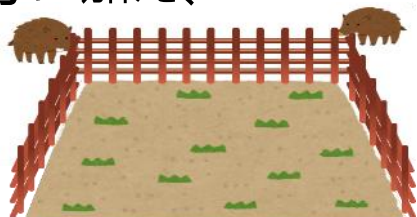
9,503万6千円

イノシシ・シカ等の有害鳥獣による被害を軽減するため、①防護対策、②棲み分け対策（有害鳥獣が出没しにくい環境整備）、③捕獲対策の3対策を実施するとともに、地域住民が連携した「地域ぐるみの取り組み」を推進します

【拡大事業】ワイヤーメッシュ柵等資材設置業務補助金 300万円

●防護対策

イノシシによる住宅地や通学路への出沒、石垣の掘り起こし等の生活環境被害の相談が増えていることから、自治会等に対し、ワイヤーメッシュ柵等の資材の貸与に加え、



- ・会員が高齢者ばかりで設置できない
- ・設置箇所が岩盤などで住民では設置できない

などにより、柵の自力施工が困難な自治会等に対し、

設置費用の半分の助成します
（上限額：200千円/団体）

7-6. ともに支えああい、いきいきと暮らせるまち

成年後見制度利用支援費(障害者) **289万7千円**
(うち拡大 252万円)

成年後見制度利用支援事業費(高齢者) **1,258万4千円**
(うち拡大 564万円)

市長申立以外の者の成年後見人等に就任した専門職後見人において、家裁審判額の決定額によっては、後見人活動に支障が生じる場合があるため、その活動に対する費用を助成します

対象者	市長申立以外の専門職後見人（弁護士、司法書士、社会福祉士）		
助成額 (月額)	在宅者	10,000円	－ ※家裁審判額
	施設入所者	6,400円	－ ※家裁審判額



※ 家庭裁判所の審判によって決定する成年後見人等に支払う報酬額。
家裁審判額が在宅者10,000円未満、施設入所者6,400円未満の場合を助成対象とします

7-7. 創造的で豊かな心をはぐくむまち

教育ICT推進費（小学校・中学校・高等学校）

ICT支援業務委託

小・中・高等学校

2億7,812万6千円

ICTを使った
よくわかる授業で学力の向上



ICTを活用して
次代を担う子どもに必要な
資質・能力を育成



校務の情報化で
子どもと向き合う時間の確保



授業
支援

校務
支援

環境
整備

校内
研修



ICT支援員の配置

学習者用コンピュータ用ソフト使用料

小学校

低学年の児童でも、タッチパネルを使って手書きで操作したり、考えを共有したりすることができる授業支援アプリ



学習者用コンピュータ用WEBフィルタリングシステム使用料

小・中・高等学校

教育上閲覧することが不適切なサイトを
フィルタリングするWEBフィルタリングシステム

アダルト
サイト

違法
サイト

薬物
サイト



7-7. 創造的で豊かな心をはぐくむまち

西町小校舎等改築

6,970万円

老朽化した学校の建替えを行い、教育環境の改善を図ります

【事業期間】 令和3年度～9年度

【総事業費】 28億3,850万円

【令和3年度事業内容】

基本実施設計・測量設計・内部改修

【供用開始予定】

令和7年度 新校舎・屋内運動場

令和9年度 運動場

